



前橋市生涯学習
奨励員連絡協議会

責任者 大井常利

事務局
前橋市教育委員会
生涯学習課内

〒371-0023
前橋市本町2-12-1
K'BIX元気21まえばし
3階

☎(027) 210-2198

生涯学習で大切なこと

学習への基盤を培う

「生涯学習」という言葉が中央教育審議会の答申に登場するのが約四〇年前の昭和五十六年、そして、昭和六一年、本市の生涯学習奨励員制度が誕生しました。その歴史は、三〇年を超えます。

生涯学習奨励員さんの活動、地域における役割、一人ひとりが取り組んでおられるテーマは様々ですが、どれも大切なものばかりです。

ある時、「生涯学習をしていく上で大切な事は何だろうか」と聞かれました。その時、言葉に窮しましたが、こんな法律の規定が浮かんだので紹介させて頂きました。

一つは、平成一八年の教育基本法改正において新設された生涯学習の理念規定です。そこには、「一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送るこ

大切な主体的学習 原動力は仲間と楽しさ



うとあるのです。

課題解決への能力を

①「習得」は、基礎的な知識と技能、
②「はぐくみ」は、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力、③「涵養」は、主体的に学習に取り組む態度としています。

大切な事、それは主体的、その原動力は仲間と楽しさなのではないでしょうか。

とができるよう」とあります。

もう一つは、その翌年、改正・追加された学校教育法第三〇条第二項の規定です。そこには、「(小・中学校における教育を行う)場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう…を習得させ、…をはぐくみ、…を養うことに、特に意を用いなければなら

ない」、つまり、学校教育は生涯にわたり学習する基盤を培

元前橋市生涯学習課長 小崎 昭一

前奨連総会

新年度の活動に向けて

5月14日に開催

『赤城山の歴史』も学ぶ

市内の二八五町の奨励員が一同に集う前奨連の総会が五月一四日(木)午後一時三〇分から中央公民館で開かれ、新年度の活動がスタートします。総会では、市生涯学習推進本部長の山本龍市長らが出席し、式典の後、新しい年度へ向けた活動方針が審議され

事業計画など五議案が示されます。総会後の研修会を兼ねた記念講演では前県立自然史博物館副館長の能登健氏の「ふるさと・赤城山の生い立ち」地震の歴史を中心に」が予定されています。

奮ってご参加し交流を深めて下さい。

実践への研究会と 二つのセミナー

— 一年末年始に開催 —



身近な課題を話し合う参加者

まで市内五ブロック(中央公民会・下川淵公民館・元総社公民館・南橋公民館・粕川公民館)で開かれ、自治会長と奨励員らが一体になって、町の活性化へ向けて身近な課題を熱心に語り合いました。研究会には合わせて三二六人が参加して盛り上がりを見せました。

前奨連セミナーは一月一四日と二一日に中央公民館で開かれ、奨励員活動のありかたなどをテーマに意見交換

学習活動の推進を目指す「生涯学習実践研究会」と「前奨連セミナー」は昨年一二月と今年一月に開催されました。

※「実践研究会」と「前奨連セミナー」の詳細は四面に掲載しました。



白川の環境整備に励む地域の代表

地区だより ③⑧

洪水の防止をめざして

白川堤防に桜を植える

富士見町田島奨励員

高山敏行

三団体が力を合わせて

富士見地区生涯学習の活動を報告します。テーマは白川に桜を植えて整備

をするので
地域づくり・自治会・生涯学習の三団体で活動を行いました。

今回の生涯学習活動の主旨は①生涯学習富士見地区の全体活動②地域環境の整備③ボランティア活動の参画

な台風による甚大な災害が起きました。台風一五号は千葉県で住宅の屋根が三万棟も飛ばされました。台風一九号は千曲川の決壊と多くの方が亡くなる、大きな災害となっています。

富士見でも過去に大きな台風災害が起きています。昭和二年のカスリーン台風で富士見だけで一〇四人が亡くなると言う大きな災害でした。白川の上流で山腹崩壊が起きたため、土石流が発生し、白川の堤防が決壊して大きな被害が発生。右側の山には木が植えられていたが、左側は木が無くて山崩れが起きる要因になったと思われるます。やはり大量の雨が降った時は木が無いと弱いと言う結果だと思えます。この事を忘れない様に富士見かるたに『大水まもる白川堤防』と残されています。

次年度は桜の苗木を植樹

そして現在の白川はどうなっているのか？下流から上流へと歩いて見ました。素人目で見た感想ですが、小沢から下は川底は深く堤防もしっかりしていますが、中流部の堤防は雑草が生い茂り整備された状態ではなく、良い堤防とは思えませんでした。早く堤防整備して、桜の木を植える必要があると思います。今年度の白川環境整備の活動は草刈り（年五回）でしたが、次年度は桜の苗木を植えたいと思います。

先人たちの功績を称え

地域の誇りを育てる

前獎連理事・粕川町込皆戸区奨励員

坂本
守明

生涯学習活動のテーマに

ここ粕川地区の生涯学習奨励員に任命されて約一年が過ぎようとしています。

奨励員全員が中々一堂に会する機会がない中で、でてきた意見が、生涯学習の活動テーマにここ粕川の地から輩出された先人で、現任の生涯学習奨励員でさえも名前も知らない、ましてや二〇代、三〇代の世代であればなおさ

生涯学習奨励員。いま、わが町で。

染谷川をきれいに

有志募りクリーン作戦

前獎連理事・江田町獎勵員

中川
春雄

江田町を代表する川が、染谷川です。染谷川は、江田町の西側を南北に流れています。昔は、農業用水と生活用水を兼ね、子どもたちにとつては、釣りや水遊びの場として無くてはならないものでした。一方、大雨や台風がくると大変。「染谷川上流榛名山麓で

ら知らない人が多いと思います。ここ粕川に生を受け、幾多の艱難辛苦（かんなんしんく）を乗り越えて、功成り名遂げ、社会に貢献した、そんな人物像に光をあててみようと思います。

人口一万人弱の小さな町ですが、この粕川の誇りでもある偉大なる先人を、今年はこの粕川町の市民の皆さんに紹介していこうと思います。

今回は金子与重郎氏に光

今回のテーマの候補者は金子与重郎氏です。この記事を書いている小生もここ粕川に生まれ育った七〇歳目前の住民ですが、初めて聞く名前です。農家の子として生まれ、後に国会議員にまでなった方と聞いています。

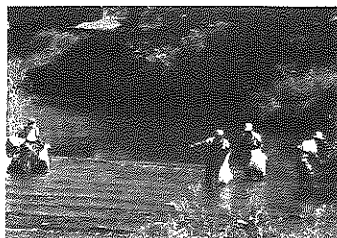
大雨が降ると数時間後に鉄砲水のように水が押し寄せ、床下はもちろん、状況によっては床上まで浸水」「昭和二〇年のカスリーン台風の時は、染谷川沿いの家は一階部分まで浸水」。昨年の台風一九号では、東地区利根川沿い五町に避難勧告が出されました。

しかし、染谷川は氾濫しませんでした。それは、一九八八年（昭和六三）改修工事の結果、すっかり「おとなしい」川に生まれ変わったからです。氾濫が無くなった染谷川です。

が、今度は上流で様々なゴミ(自転車やオートバイ、ペットボトルから猫の死体等)を捨てるためゴミ川になってしまいました。

そこで、自治会を中心に町内有志で染谷川をきれいにしようと、二〇〇三年(平成一五)「染谷川クリーン作戦」をたちあげました。毎回、町内全世帯に参加者募集案内を配布。三〇から

四〇人程度が参加し清掃活動を行っていただきます。今年も五月に一七回目の「クリーン作戦」が予定されています。



川に入り清掃にあたる有志

「生きがい塾」の参加や

公園清掃などに励む

天川町奨励員

倉澤 敏彰

私は、昨年奨励員を仰せつかり何もわかりませんでした。皆様にご指導を戴き一年過ごす事が出来ました。

そこで、まず我が天川町を語る前に、文京、天川地区八町の奨励員が中心となり、学びの「生きがい塾」を語らなければはじまらないと思います。

今年で「生きがい塾」は四〇周年を迎え、今年の講演の一覧ができ上がりました。五月八日に開講式、十月二日に閉講式、その間、八月を除き、毎月二回の学習が行われ、講演では、経済、文化、歴史、教育、音楽、等の内容になっており、楽器の演奏や皆で唄う喜びもあります。

我が天川町は二子山古墳の南道路を挟んだ南地域に位置しており、比較的新しい町です。昭和五〇年前半に民間業者により、大型住宅分譲が始まり

五三年に終了しています。世帯数は三五〇棟、人口は七五〇人で、歴史が浅い為、神社仏閣等はありません。だが、住人の年齢は比較的高くなっていると思われ昨今ですが、農地であった土地が住宅分譲され、十数棟の新築住宅ができ、若い人の増加がみられます。町内の行事で最大のイベントは夏祭りです。自治会の行事ではありませんが、奨励員も積極的に取組んでいます。そして、天川町ふれあいサロンが年に十回行われ、開催日は当月の第二木曜日になっています。昨年の内容は、転倒防止、紙芝居、落語、楽しく唄おう、そしてピンシヤン体操等でした。そして、最後にお茶の時間があり、参加者の皆さんは楽しく団らんしていました。奨励員も参加して皆様とコミュニケーションを図っています。もう一つ、町内で大きな事として、前橋市よりお借りしている泉公園の管理です。(自治会主体)総面積が約、二二〇〇坪あります。町内は、一組一五組の班別から二人ずつ公園管理役員が選出されま

親子や友達同士で楽しむ

ネイチャークラフト教室

前奨連事務局長・駒形町奨励員

吉田 睦

芝居や映画で一世を風靡した「一本刀土俵入りの主人公駒形茂兵衛」の駒形町は、前橋市の東南部で伊勢崎市に隣接し、人口が七〇〇〇人、世帯数が三〇〇〇世帯、北関東自動車道の駒形ICがあります。



親子や友達同士で楽しみながら作品づくり

駒形町は、例年運動会や野球大会など数多くの運動行事や、伝統ある夏まつり、多くの町民が参加する文化祭、その他多くの行事が盛大に行われていきます。しかし、子供達が

す。任期は二年(泉公園愛護役員)です。役員の中から会長、会計、書記、幹事が選出され、草むしり、草刈りの運営にあたります。五月一十月まで、年六回、草刈機二台で対応します。そして、当日参加できなかったご家庭からは協力金として五〇〇円を役員が集め、会計に渡します。そのお金は主に清涼飲

料代に当てられ、一世帯全員が七五歳以上は草むしりは免除されます。寿会(老人会)では毎月一回アルミ缶回収を行っており、わかば子供育成会も二カ月に一回、廃品回収を行っています。

自治会行事に奨励員も一体となって明るく町づくりに邁進してまいります。

中心となる催しが少ないことから、平成二三年から緑のインタープリターの協力を得てネイチャークラフト教室を毎年開催しています。今年度も小学校PTA役員の協力で生徒四〇名、保護者二〇名が参加し、第九回ネイチャークラフト教室を二月一四日に開催しましたので概要をご紹介します。

ネイチャークラフトのネイチャーは自然を、クラフトは手づくり工芸の意で、木の実や落ち葉、小枝など自然のものを接着剤などでつくるものです。駒形町のネイチャークラフト教室は、インタープリターの方に用意して頂いた松ぼっくりやどんぐりなど木の実や藤つるなど約一〇〇種類もの材料を使って、クリスマスツリーや可愛らしい置物など思い思いの素晴らしい作品を楽しそうに、二時間程でつくり持ち帰られました。今年度も大盛況に開催することができました。

自治会はネイチャークラフトのような子供達が参加し易い行事の推奨を勧めており、生涯学習奨励員も企画・立案段階から実施まで参加しています。

意見交換会
「生涯学習奨励員とは」

令和元年度、一つ目の前奨連セミナーでは「生涯学習奨励員とは」と題しての意見交換会が行われました。

本年は奨励員の任期替えの年、新任の方々を交えて奨励員三七人と自治会長さん六人の総勢四十三人が六つの班に分かれ、それぞれの班のリーダーが提示する七つのテーマについて各々回答し、それらに対して質問・討論など意見交換を行いました。

実践内容などを討論
各町の実情を知る機会に

意見交換のあと、各々の班のリーダーが参加者全員に向かつて討論の状況などを報告し、会は終了しました。

参加した奨励員それぞれは他の自治会の様子あるいは奨励員それぞれの活動状況を知り、今後の自らの活動に大いに参考になったものと思います。

前奨連セミナー
奨励員の役割や文化財など学ぶ

「文化財の種類と前橋市の指定文化財アラカルト」

元県文化財保護課

水田 稔氏



文化財とは「人類の文化的活動によって生み出された有形・無形の文化的所産」のことを云います。

郷土の宝を改めて知る
百人を超す参加者が集う

文化財はその対象により以下の八つのジャンルに分類されています。

- ①有形文化財
 - ②無形文化財
 - ③民族文化財
 - ④記念物
 - ⑤文化的景観
 - ⑥伝統的建造物群
 - ⑦文化財の保存技術
 - ⑧埋蔵文化財などです。
- 更に、文化財のうち重要な物は国の規定（県・市町村もこれに準ずる）で次

「上野国分寺跡」「塩原家住宅」「前橋の養蚕・製糸用具及び関連資料」等々です。

私達にとって本講演は郷土の宝の存在を改めて知る貴重なひと時となりました。因みに本セミナーには一〇四人の参加者があり過去最多となりました。

（前奨連研修委員長 笠原 弘）

「自治会と連携を密に」
連合会と新年挨拶交わす

—前奨連代表—



前橋市役所の仕事初めの一月六日に、市自治会連合会と前奨連代表が市役所内で年頭の挨拶を交わしました。写真Ⅱ

副会長らが参列し、前奨連からは大井会長、笠原、深谷副会長と共に市生涯学習課の若島課長、茂木係長、青木主事が出席しました。前奨連側からは、新年度の行事の充実に向け、自治会とのさらなる連携と協力をお願いしました。

多彩に地域活動を紹介

◆生涯学習実践研究会から

今回の生涯学習実践研究会の発表内容は次の通りです。

▼第一ブロック（中央公民館）

- ①「生きがい塾と五中地区生涯学習奨励員」
- 幸山裕二郎（天川原町一丁目奨励員）※コーディネーター 中川原孝信（前奨連理事）

▼第二ブロック（下川淵公民館）

- ①「東善町の生涯学習」新井修（東善町奨励員）
- ②「横手町の伝統芸能」中澤正雄（横手町奨励員）
- ③「自分のための学習から学習成果の地域への還元」興津忠隆（下長磯町奨励員）※コーディネーター 深谷茂（前奨連副会長）

▼第三ブロック（元総社公民館）

- ①「私たちの町の生涯学習」地域交流を通じて「齋藤斎（西箱田町奨励員）
- ②「我が町を知ろう」伊藤茂男（元総社町10区奨励員）
- ③「まちをつくる、まちにいきる」武藤孝（総社町城川奨励員）
- ④「清里花いっぱい運動の活動

〔表彰〕

☆社会教育活動功労者表彰

▽1月29日付

福島 吉完 下小出町

☆新任

▽1月1日付

西澤 利 千代田町一丁目

◇奨励員情報（敬称略）

あゆみ（1月～3月）

▼Ⅱ主要事項

- 1・14 ■前奨連セミナー「意見交換会 生涯学習奨励員とは」（BS）
- 1・21 ■前奨連セミナー「前橋市の国指定文化財について」
- 2・18 ■総務委員会 ▼理事会対応案件

- 報告」櫻井恭子（清里花はなクラブ代表）※コーディネーター 大井常利（前奨連会長）
- ▼第四ブロック（南橋公民館）
- ①「芳賀の水物語」加藤正利（鳥取町奨励員）
 - ②「龍蔵寺町かるた制作について」静敬治（龍蔵寺町奨励員）
 - ③「赤城白川・環境整備について」高山敏行（富士見町田島奨励員）※コーディネーター 中山洋子（前奨連理事）
- ▼第五ブロック（粕川公民館）
- ①「粕川町中地区の生涯学習活動報告」大矢静雄（粕川町中地区奨励員）
 - ②「三俣町一丁目の現況ほか」南保克己（三俣町一丁目奨励員）
 - ③「広報・道くさの編集奮闘記」高橋忍（西大室町奨励員）
 - ④「茂木町自治会と各種団体の活動」工藤富美男（茂木町奨励員）
 - ⑤「市之関町の様子」と生涯学習活動状況」小池裕（市之関町奨励員）※コーディネーター 笠原弘（前奨連副会長）